



1. 松前町の中学生と梁川中学校の生徒たちは息がぴったり！法被も似合っています / 2. 初めての商品のやり取りに緊張気味。貴重な体験をしました / 3. マザーヤマキさんが製造したパンは中までもっちりふわふわ / 4. パンを一つ一つ丁寧にお客さんに渡しました

2023年9月 だて市政だより

「完売御礼！コラボパン」

8月3日㊦、道の駅伊達の郷りょうぜんで、北海道松前町の中学生と梁川中学校の生徒がコラボして発案した「もちもちぎりパン」を販売しました。パンは「松前の桜あん」・「伊達の桃クリーム」の2種類で、売り出した途端に長蛇の列ができ、およそ15分で完売しました。中学生たちからは「販売してすぐに人が来てくれてうれしかった。貴重な体験になった」と声が聞かれました。両校は、松前藩が梁川に移封されていた縁から1年交代で互いの市を訪問していて、今年は伊達市内の松前ゆかりの地をとともに巡るなどして交流を深めました。

伊達市 だて市政だより



市長コラム 第57回

「暑い伊達市の『熱い夏』」

須田博行

今年の夏は全国各地で猛暑日の連続でした。7月の全国の平均気温は平年と比べ1.91度高く、この100年余りで最高であったとの報道がありました。特に北日本と東日本の気温が高く、伊達市においては8月5日に今年の日本一となる40.0度を記録しました。全国に「暑いまち伊達市」で有名になりました。

そして、暑い夏をより熱くしてくれたのが聖光学院野球部の甲子園での活躍です。ピンチでも守りきるんだという気合がテレビの画面越しにも伝わってきて、選手たちのひた向きな心の強さを感じました。そのひた向きさが毎年伊達市民に元気を与えてくれているんだと改めて思いました。

目標の日本一は後輩に託されましたが、これからも聖光らしい最後まであきらめない全員野球を見せてください。聖光野球

今年の『熱い夏』も終わろうとしています。この夏感じた懐かしさも新鮮な想いを大切にしたい、これからの季節も『熱く』過ごしていきたいと思えます。

ファンの一人として、いつも応援しています。

さて、今年は市内各地で夏まつりが盛大に行われました。コロナ前と比べても人出が多いと感じています。特に子どもや若者が多く、キッチンカーや屋台はどこでも長蛇の列でした。また、金魚すくいや輪投げ、射的など昔懐かしい遊びに子どもたちの人気が集まっていました。

コロナ禍による行動制限が長かったからでしょうか、久々に身体の底から湧き上がってくるような喜びを感じました。そして、地域の大人と子供が一緒に楽しんでる姿を見ると、地域のつながりに祭りが果たす役割の大きさに改めて気づかされました。

編集・発行 伊達市総務部政策推進課 令和5年8月24日発行 NO.211
〒960-0692 福島県伊達市原町字舟橋180番地 TEL024-575-1113 FAX024-575-2570 印刷・製本 株式会社 CIA